

相馬地区労福協ニュース

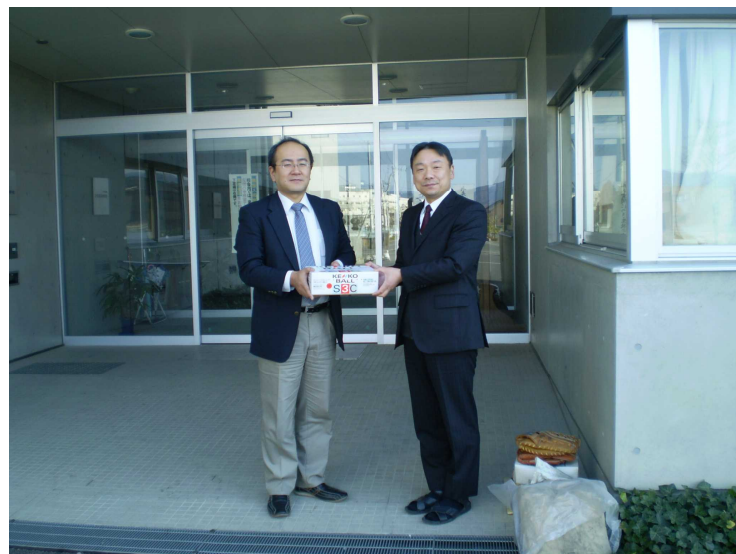
発効日 2011 年 1 月
NO. 2010-3
発行責任者
相馬地区労働福祉協議会
会 長 山田 好伸

新年明けましておめでとうございます。

『新年明けまして、おめでとうございます。2010年度は地域社会貢献を求め高校生のための消費者講座、クリーンアップ活動、一人暮らしの高齢者への弁当宅配活動のボランティア活動、さらに相馬地区労福協各団体の連帯・連携を強めるボウリング大会、潮干狩り、相馬地区連合との合同会議などを展開してまいりました。現在、少子高齢者社会といわれる中で、高齢者は人口の約25%に達している地域社会となっています。一人暮らしの高齢者が増え、介護・医療・生きがい・生活の営みなど社会福祉問題は、様々に影響を及ぼすとさえ言われています。地域行政だけでは、この大きな課題を克服することはできません。地域住民と一緒にあった決め細やかな政策と役割を分担していくことが重要であると考えるところです。相馬地区労福協は、労働組合・福祉団体を結集し地域勤労者の福祉向上を目的とした協議会です。地域社会貢献の活動はその一端です。地域社会で安心して生活できる環境を目指す活動を展開してまいりたいと思います。』



相馬地区労福協 県立相馬東高等学校へ寄贈



(山田労福協会長と味原相馬東高校教頭)

教頭先生より『生徒のためありがとうございます。大事に使わせて頂きます。』との御礼の言葉をいただきました。

相馬地区労福協は、2010年8月5日に開催した相馬地区労福協と相馬地区連合同幹事会において、相馬地区労福協の用具として長い間活用しなくなったソフトボール用具(ボール約20個、各塁ベース、ミット2個)などについて、処分の検討を行いました。その中で活用する学校・団体などに当たっていくことを確認しました。その取組みから県立相馬東高校のソフトボール部で活用したいとの話があり、それを受け11月30日にソフトボール用具一式と労福協山田会長より新ボール半ダースを添え寄贈してきました。その際、味原

東北労働金庫相馬支店、全労済福島県本部相双支所は、相馬地域の勤労者はもとより市民生活の応援をしております。労働金庫は日常生活や将来設計を支え応援する教育ローンをはじめとした各種ローンを！全労済も同様に不慮の災害・事故に対応するこくみん共済を柱に提供しております。



第16回ボウリング大会地区予選

相馬地区労福協第16回ボウリング

大会は2010年10月15日(金)8組
合44名で団体戦と個人戦の競技が行
われました。団体戦では、IHI 労連相
馬支部Bチーム(越後谷・安田・滝田・
大野氏)が見事優勝しました。準優勝
には、IHI 労連相馬支部Aチーム(下
宮・折笠・安藤・黒はばき氏)、三位
には、相馬共火労組(南條・大内・佐
藤・泉田氏)が入賞しました。引続く
県大会でもIHI 労連相馬支部が県大会

の団体優勝となり、県個人選でも越後谷隆氏がどうの三位に入賞しました。

お弁当宅配活動

相馬地区労福協及び相馬地区連合同幹事会の決定方針に基づき、相馬市社会福祉協議会の要請に応え、相馬市内で一人暮らしの高齢者に対して、ボランティア活動として各団体組合の組合員のご協力を頂き相馬地区連合が中心に活動を展開してきましたが、相馬地区労福協としても共同で実施することになりました。10月より共同で実施しているところですが、身体が中々思うように動けない方や、一人でテレビをつけたままの方など様々ですが、高齢社会の一コマだけではなく、「明日はわが身かな」と強く感ずるところです。「雨の中本当にありがとう」「動けないので玄関に置いて下さい。すみません。」と、この取組みが役に立っていることを実感すると共に、もっと地域全体で「共に助け合う」政策が重要であると思いました。



(当日の受付風景)

高校生のための消費者講座 新地高等学校

○相馬地区労福協は社会貢献の一環として、「高校生のための消費者講座」を昨年より具体的な取組みを実施してきましたが、相馬看護学校に引続き県立新地高校の3年生(67名)を対象にし、2010年10月28日(木)に開催してきました。参加者のアンケートからは、「クレジットカードの仕組み、架空請求、悪徳商法の手口」など「参考になった」との大きな反響を頂いております。